

YOUNG BLOOD

安全・絆・躍進

2013年12月16日

高速道路料金問題で国土交通省道路局長等へ要請

JR連合青年・女性委員会 議長 大戸 浩之

12月3日（火）、高速道路料金問題に関して、国土交通省徳山道路局長、瀧口鉄道局長及び民主党櫻井政調会長に要請を行い、青年・女性委員会を代表して参加しました。

高速道路施策を巡っては、本年6月には有識者会議による中間答申がとりまとめられ、11月29日にはNEXCOから料金割引案が公表され、今後政府案が提示されることとなりますが、持続可能な交通ネットワークや地域の活性化に資する総合交通体系の構築を求めて要請を行ったものです。

要請には、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムからは高木義明会長をはじめ、三日月大造事務局長、小川淳也事務局長次長、広田一幹事にもご同行いただき力強い後押しをいただきました。

各単組の代表者は、物流における鉄道貨物モーダルシフト推進の観点に立った料金施策の実施、本四高速料金がJR等の公共交通に与える影響、地方部路線に関わる無料化区間を含めた料金設定の問題等を力強く訴えました。

徳山道路局長から「高速道路料金施策は鉄道を含めた公共交通へ影響を及ぼすものであると理解している。それぞれの機関が役割を果たせるマルチなスタイルが大切である。頂いた意見を参考にし、料金設定を検討したい」と話す一方で、「自動車業界等からは割引の継続を求める声も多く寄せられている」という話を聞き、各業界からあらゆる機会を通じて、陳情に来ていることが想像できました。

JR連合の交通重点政策の実現に向けては、JR連合国会議員フォーラムに所属している国会議員の力が欠かせません。交通政策基本法成立においても多大なご尽力をいただきました。今回の高速道路料金問題も私たちにとっては大きな課題であり、このようなJR連合の政策活動に大きな力添えをいただいている国会議員との連携は不可欠です。改めて労働組合が政治と関わる意義を強く感じました。



国土交通省徳山道路局長への要請



民主党櫻井政調会長への要請